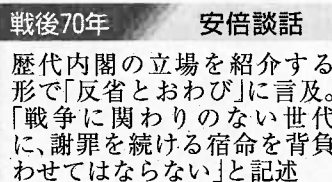
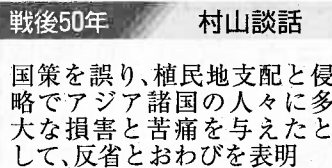


しもじょう・まさお 長野 第5期竹島問題研究会の座長
県出身。国学院大学院博士 を務める竹島研究の第一人者
課程修了。1999年から拓 で、23年3月末まで本紙客員
殖大教授を務め、2021年 論説委員を務めた。拓殖大名
3月末で退官した。島根県の 誉教授。74歳。

「敵性国家」と断じ、尹氏による対日融和策を「親日屈辱外交」と指摘。尹政権を「親日売国政権」と非難する際、国民の反日感情をあおった。反日感情は日韓関係に限らず、国内政治でも利用されていたのだ。

戦後50年 村山談話



「(日本が)100年前の歴史のためにひざまずかなければならないという考えは受け入れられない」。尹氏は2023年4月、訪米を前に米紙ワシントン・ポ

ストのインタビューにこう
答え、過去よりも日韓関係
の今を重要視した。

現に尹氏の政治的信条は日韓の關係改善を促し、韓国内の反日感情も確実に薄れたが、一方で尹氏は、對抗する動きに危機感を抱いていたようだ。

金文書庫

た民主労働組合総連盟（民主労総）や一部国会議員が、反日感情を利用し、日韓の離間を謀っていた事実が明らかにされたのである。韓国の20・30代の若者が必死に尹氏の「弾劾反対」を叫んだ理由がここにある。

を宣布した尹氏は弾劾審判の最終弁論で「巨大野党の暴走」や「北朝鮮スパイの暗躍」など韓国が今、亡国の危機にあると主張。「私的は国家と国民のために戒厳令を決断」したと述べた。背景にあったのが、反日感情の政治的利用だ。

革新系最大野党の「共に
民主党」代表の李在明氏は
「独島(竹島)の領有権を主
張して挑発し、歴史問題を
謝罪していい」と日本を

その頃、閣議決定による戦後80年の「首相談話」策定を検討していた石破首相は、国内外で歴史認識を巡る論争が再燃する事態を回避するため見送りを決定。代わりに先の大戦の検証に着手するという。

日本政府はこれまでも戦後50年の「村山談話」、60年の「小泉談話」、70年の「安倍談話」を発表している。村山談話は慰安婦問題で日韓関係が最悪の時に出現

された談話だったが、遠因刺激したのである。

は自民党の金丸信氏らが行った1990年の訪朝にあった。北朝鮮で戦後補償に言及したことで、当時の韓国政府も解決済みとしての慰安婦問題が政治問題化

村山談話と小泉談話を踏襲した安倍談話も、結果的には「100年前の歴史」に反省とおわびをしたもの同然で、弁解じみた空言を羅列しただけだった。

安倍談話が出た2015

すると日本政府は、事実関係を明らかにすることなく「河野談話」を発表し、軍部の関与といった言質をとられたのである。それは当時、韓国では日本兵を相

年は、竹島問題の解決を怠った小泉政権を見て、中国が尖閣諸島侵奪に動き、ロシアが北方領土問題を領土から歴史問題とし、侵略を正当化した時だった。

手としていたのは自尊心が許さないとして、強制されたとしてほしいという声に応えるものだった。

小泉談話も事情は似ていた。島根県議会が「竹島の日」条例を制定しようとす

これは歴史的事実として、戦後の韓中口こそが「侵略国家」なのである。その侵略国家が日本を侵略国家と指弾し、それに首相談話で応じるのは「盗人に追い銭」である。

ると妨害した小泉政権だったが、「竹島の日」条例が成立すると「竹島は日本固有の領土」「韓国が不法占拠している」として、韓国側の反日感情をいたずらに

戦争の検証なら、軍部の暴走を許した当時の政党政治こそ対象にすべきだ。それは現在の政党政治も戦前と大差がないからだ。

|| 随時掲載 ||